



若あゆだより

第24号（令和5年9月11日）

岩脇小学校学校だより

地震・津波対応の避難訓練～予告なしで行いました～

9月4日(月)、南海トラフ大地震発生を想定しての避難訓練を行いました。子どもたちには事前の予告や指導を行わず、抜き打ちで実施しました。

授業中にいきなり地震発生を知らせる放送を聞いた子どもたちは、一瞬とまどいながらも「身を守る行動をしてください」との放送や担任の指示により素早く机の下に潜り込みました。その後の運動場への避難行動も「お・は・し・も」の約束をよく守ってできていたと思います。

運動場に避難後は、津波を想定しての屋上への避難訓練です。本校は津波による浸水被害は想定されていませんが、想定外の事態に備えて、また、子どもたちが学校以外の場所で大地震に遭遇したときのことも考えて、津波に対応する避難訓練も併せて行っています。

ただ、このあたりから訓練とわかったためか緊張感が薄れ、おしゃべりをしたり、ふざけたりと、不十分な点が見られました。屋上への避難後には、防災担当から訓練の評価を子どもたちに伝えましたが「50点」と厳しいものでした。校長からは「今日しゃべったり、ふざけたりした人は、きっと、普段からしゃべってはいけないときにしゃべったり、ふざけてはいけないときにふざけたりしている人。普段できていないことは、訓練でもできない。訓練でできないことは、いざというときにもできない。普段の生活の態度や行動をさらによくしていくことが自分たちの命を守ることに繋がる」との話をしました。

今回は初めての抜き打ち訓練ということで課題もありましたが、課題が見つかったことは成果でもあると考えています。今後も、訓練の在り方を工夫するとともに普段の生活における行動を高められるようにしていきたいです。



情報モラル教室～被害者にも加害者にもならないために～

9月7日(木)、5・6年生を対象にe-とくしま推進財団による出前授業「情報モラル教室」を行いました。

SNSの利便性と危険性、情報の信憑性、個人情報流出することの怖さ、ゲーム依存にならないための未然防止など、スマホやネットとの適切なつきあい方について学ぶことができました。

ネット上のリスクが多様化・複雑化してきており、子どもたちが犯罪やトラブルの被害者とならないように正しい知識や情報を身につけるとともに、加害者にならないように情報モラル意識を向上させていくことが大切です。

ご家庭においても、今一度、お子さまのスマホやゲーム、インターネットの使用状況等をご確認いただくとともに、適切な使用ができるようご指導やルール作りをお願いいたします。

